

世界の子どもと本を考える

2018年国際アンデルセン賞・IBBY オナーリスト 2018 巡回講演会・共通テーマ

「世界の子どもと本はこんなに面白い！」

2018年国際アンデルセン賞を受賞した作家・画家の作品をはじめ、チェコの絵本など今話題の世界の子どもと本を紹介します。

■ 講師 **木村有子** 氏 (チェコ語翻訳家)

■ 日時 2020年 **2月23日** (日)

14:00 ~ 16:00 (開場 13:30)

■ 会場 **大阪府立中央図書館**

2階 多目的室

大阪府東大阪市荒本北 1-2-1

■ 対象 **一般** ■ 定員 **60名** (先着順) ■ 参加費 **無料**

■ 申込 ① **大阪府立中央図書館**

★来館：1階 国際児童文学館 (受付時間：開館日の 9:00 ~ 17:00)

★fax：06-6745-0262 (24時間受付)

★インターネット

<http://www.library.pref.osaka.jp/site/jibunkan/sekaihon.html>

(大阪府立中央図書館ホームページ内に、インターネットでの申込方法について記載しています。)

② **JBBY 事務局** tel：03-6273-7703



《登壇者プロフィール》

【講師】木村有子 (きむら ゆうこ)

東京生まれ。チェコ語翻訳家。1970年代初め、チェコスロヴァキアの小学校に通う。80年代半ばにプラハのカレル大学、90年代初めにドイツのフランクフルト大学、ベルリン自由大学のスラヴ学科で学ぶ。訳書に『もぐらくんの絵本シリーズ』、『どうぶつたちがねむるとき』(偕成社)、『金色の髪のお姫さま チェコの昔話集』、『こいねとこねこのおかしな話』(岩波書店)、『クリスマスのあかり チェコのイブのできごと』(福音館書店)など。講演やエッセイを通して、チェコ文化を発信している。

【司会進行】土居 安子 (どい やすこ)

大阪国際児童文学振興財団 (IICLO) 理事・総括専門員。JBBY 理事。



IBBY オナーリスト 2018 の表紙

「世界の子どもと本を考える」は、

81の国と地域に支部を持つ子どもの本の組織、国際児童図書評議会 (IBBY) が隔年で選ぶ、国際アンデルセン賞と IBBY オナーリストの本を紹介し、参加者のみなさんと世界の子どもと本について考える巡回講演会です。専門分野の言語に加え、IBBY・JBBYの活動や意義、また各国の作品についてもお話します。

資料展示では、2018年の国際アンデルセン賞受賞作家・画家の作品、並びに IBBY オナーリスト全作品が、直接手に取ってご覧いただけます。



2018年作家賞
角野栄子 (かどのえいこ)

「角野が過去に滞在した外国でのすばらしい経験は、想像力や創造性を育む源となり、その全てが作品に吹き込まれている」(推薦文より)



国際アンデルセン賞メダル

国際アンデルセン賞

(Hans Christian Andersen Awards)

1953年に国際児童図書評議会 (IBBY) が創設した、2年に1度選ばれる子どもの本の国際的な賞です。その選考水準の高さから、「小さなノーベル賞 (A Little Nobel Prize)」とも呼ばれ、世界の児童文学に大きな影響を与えています。受賞者は、IBBY支部が推薦した候補者の中から、国際選考委員会によって選ばれます。2018年は、作家賞に日本の角野栄子さん、画家賞にロシアのイーゴリ・オレイニコフさんが受賞しました。



2018年画家賞
イーゴリ・オレイニコフ

「絵の力で空想を現実に変化させ、読者に、本の中の出来事はほんとうに起こっていると思わせるのは、とても刺激的だ」(推薦文より本人談)

資料展示

世界の子どもの本展

— 2018年国際アンデルセン賞受賞者作品・IBBY オナーリスト 2018 —

国際児童図書評議会 (IBBY) が61の国と地域から選んだ
50言語、約200冊の世界の子ども本を展示します。
ぜひ手にとってご覧ください。

2020年 **2/22** (土) ~ **3/8** (日)

会場：**大阪府立中央図書館 こども資料室・国際児童文学館**

〈展示時間〉 9:00 ~ 17:00 ※ 休館日：2/25(火)・3/2(月)

上：オレイニコフ作『職業のアルファベット』
下：角野栄子作『魔女の宅急便』

上：『タイボとスキム』(チェコ)
下：『チューバのクーバとタトゥーライン』(チェコ)

IBBY オナーリスト (IBBY Honour List)

国際児童図書評議会 (IBBY) が1956年に創設した、世界の優れた子どもの本を集めたリストで、当初は優良賞と呼ばれていました。1980年に「IBBY オナーリスト」と名称をあらため、以来、世界に向けて隔年で発信されています。現在は、文学作品・イラストレーション作品・翻訳作品の3部門からなり、IBBY支部が、世界の子どもたちに読んでほしいと願う、それぞれの国の特徴を持つ最も優れた作品を推薦しています。

2018年版は61カ国50言語191作品が推薦されました。日本からは、文学作品に古内一絵さんの『フラダン』(小峰書店)、イラストレーション作品にスズキコージさんの『ドームがたり』(文：アーサー・ビナード/玉川大学出版部)、翻訳作品に母袋夏生さんの『お静かに、父が昼寝しております：ユダヤの民話』(岩波書店)を選びました。日本国際児童図書評議会 (JBBY) は、世界の子どもの本が、世界への架け橋になると信じ、子どもたちや子ども本に関心を持つ人たちに、直接手にとってご覧いただけるよう、IBBY オナーリストの全作品を国内で巡回しています。



『フラダン』

IBBY オナーリスト 2018 に選ばれた日本の3作品



『お静かに、父が昼寝しております：ユダヤの民話』



『ドームがたり』

日本国際児童図書評議会 (JBBY) は、国際児童図書評議会 (IBBY) の日本支部として、1974年に設立されて以来、「子ども・本・平和」をキーワードに活動を続けています。JBBY はどなたでも入会できます。会費は国内外の子どもの本を結ぶ活動を支援しています。詳しくは JBBY 事務局までお訊ねください。「JBBY 事務局」Tel 03-6273-7703 / Mail info@jbbby.org 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32 出版クラブビル 5F